

# にゅうじだより NO.28

なかよしこども園 2022.01.31

最近、寒さも深まり、園庭や通信隊へ遊びに行くと霜柱や氷をよく見つけます。その霜柱を踏んでシャリシャリ、氷を触って冷たい！と冬ならではの遊びを楽しんでいます。今回は、各学年の最近の様子や1月入園のお友達の紹介をします♪

～お誕生日おめでとうございます！～

どんぐり組

12月16日 宮部 かけるくん

もも組

12月12日 志村 おうじろうくん

## <たんぽぽ・もも>

まずは1月入園のお友達を紹介します。

～志村 おうじろうくん～

”楽しそう“のアンテナがいっぱいで、遊びたいことを見つけると次々に遊びを楽しんでいく**おうたん**♪

これからも一緒に楽しそう！と思うことにどんどんチャレンジして好きな遊び・好きな場所・好きな人を沢山見つけていこうね！



今回のクラスだよりでは、周りのことが見えるようになり、友達や大人のことを意識するようになってきたからこそ出てきたエピソードをご紹介します♪

## ☆りすの森へ探検だ！

1月中に2回、りすの森へ散歩に行きました。最近の子どもたちは、周りが見えるようになったことで友達のことを意識しだすようになり、子どもたちだけで遊びを楽しむことも増えてきました。周りが見えるようになった子どもたちを見て、りすの森への散歩時に、“先頭に立って道を決めて歩く人”である隊長を作って散歩をしてみることに。子どもたちには、“一番前に立って、後ろを振り返りながら全員いるかを確認することができる人”という隊長になるための条件を話しました。

## ・1月18日

まいT「隊長になりたい人ー!？」と聞くと、**ゆうま・ことな・ひなた・あいと・いろは・みなと・あやな・しょうご・たいし・おうじろう**が手を挙げて立候補👏

何人かの子どもに隊長になってもらおうと、“みんな来ているかな？”と後ろを振り返って確認しながら進む子がいたり、張り切った勢いそのままピューっと走り出す子がいたり…隊長になりきって、それぞれの姿を見せてくれました。

友達を意識し始めた子どもたちだったからこそ、この“隊長”でより友達のことを気かけたり、“一緒”が楽しいね!という気持ちを感じるかな?とっていました。ところがそれ以上に、隊長をやり終えた後の子どもの顔を見ると、なんだか得意気!きっと自分で道を決めて、自分が先頭に立って進むということが得意気な様子に繋がったのかな!?これからも様々な子に隊長をやってもらいながら、自信をつけてもらいたいなと思います。

また、今回隊長をやらなかった子も、隊長にしっかりとついていきながら、転んだ子に大丈夫?と声をかけて見守るサポート役の子も!こんなにも周りの友達の様子に気づけるようになったんだなという驚きがありました。

## ・1月26日(欠:ゆうま・おうじろう)

再びりすの森へ散歩に!その日の朝、「りすの森に散歩に行くよ」という話をすると、前回の楽しかった思い出もあってか、すかさず準備をしてやる気満々♪りすの森へ向かっている道中では、他の事に目を向けている子がいると「みんな!りすの森いっくよー」「りすの森こっちだよー」と呼びかける姿や「みんな早いね」と先頭の子と離れていると急ぐ姿が!子どもたちそれぞれが“りすの森へ行くんだ”という気持ちに溢れていました。また、隊長になるための条件もよく覚えていた子どもたち。

**えいみ**「隊長になりたい人ー!？」と聞くと、**いろは・しょうご・あやな・みなと・はるま・ことな・たいし・なぎさ・あいと**が手を挙げて立候補👏

今回の隊長たちは、前回を見ていることもあって、友達の話聞いて路線変更して進んでいた子、隊長2回目の子は、より隊長らしく前に出ている子に「前にはいかないよ」と教えてあげたり…前回とはまた違う姿を見せてくれた隊長たちでした。

1回目では、隊長になった子どもたちのやり終えた後の自信がよく伝わりましたが、2回目では、より“友達と一緒に”や“みんなで行く”という意識を感じられました。また2回目のお散歩中には、子どもたち同士の会話がよく飛び交っていました。「りすの森へ行くんだよ」と呼びかけている子がいれば、それを聞いて急ぐ子、「隊長より前にはいかないよ」と教えている子がいれば後ろに戻る子、友達の話聞いての反応がとってもたくさん!途中途中で大人が「〇〇がこう言っているよー!」と話すと、その友達の言葉を聞いて「あ!〇〇がこう言っていたから行かなきゃ!」と意識している姿も。こんなにも友達同士意識し合えるようになり、やりとりができるようになったんだなと感じたお散歩でした。

## ☆職員劇後の子どもたちの反応

・1月17日(欠:ひなた)

1月の誕生日会では、職員による劇「ネズミの嫁入り」の出し物をやりました。その劇の中で、風役の**えいみ**は壁役の**千葉 T**に負けてしまうという場面がありました。誕生日会が終わり、たんぽぽ組の部屋に戻ってくると…

「**えいみちゃん**風やってたね！」と興奮した口調で話す子どもたち。

「でも負けちゃったんだよね」となんだかしょぼん。しかし…！？

**ことな**「**えいみちゃん**は強くないから、**こと**が一緒になって戦ってあげる！」

**あやな**「**あやな**も風になってピューって一緒に飛ばすんだ！」

**ゆうま**「**ゆうま**も風になる！」

**おと**「**おと**は禰豆子(ねずこ)になって**千葉ちゃん**やっつける！」

**たいし**「**たいし**はハサミを持って、チョコチョコキ切ってやっつける！」

**あける**「〇〇はこうするって、〇〇はこうするみたいだよ」と誰かが何かを言うたびに教えてくれています。

**はるま**「みんな面白いね、**えいみちゃん**も面白かった」とニコニコ。

もも組の子どもたちも、知っている職員が劇に出てくると「**えいみちゃん**いたー！」「**くみちゃん**いたー！」と興奮した様子で劇を見入る姿がありました。

“みんな**千葉 T**をやっつけにいこうね”と盛り上がった劇後の会話。自分の世界で楽しんでいたところから、周りのことに気づくようになった子どもたち。だからこそ、劇を見ている時に自分もその中に入るこむように、一緒に戦おうとしてくれているんだとびっくり！やられた気持ちに寄り添って一緒に戦おうとしたり、周りの友達の話をよく聞いていたり、そんな成長に嬉しくなる担任でした。